

## 論文の内容の要旨

氏名：孫 旭 光

博士の専攻分野の名称：博士（工学）

論文題名：中国の歴史的・文化的都市環境を形成する街区と水空間の保護に関する研究

本論文は「中国の歴史的・文化的都市環境を形成する街区と水空間の保護に関する調査研究」と題し、中華人民共和国（以下中国と略す）において1982年から施行されている歴史文化名城制度と1987年から登録されてきた世界遺産による歴史的文化的な価値を持つとされる伝統的様式美の建築物や街区及び歴史的環境を生み出している水空間及び、そこに住む住民生活との係わり方を対象にして、都市環境の保護に関する課題や問題点を捉えている。

中国では1980年代から都市部では近代化を進めるための都市機能の更新や社会基盤整備及び大規模な都市改造が進められてきている。特に現在進められてきている国内の都市開発・再開発は、主要都市に限らず地方都市においても進められており、沿岸部の都市では水際地区に対する開発需要が高く新たな業務地区や住宅街などの開発が進められており、都市環境を大きく変貌させる状況を見せている。しかし、その傍らでは中国特有の伝統的様式を持つ建築物や街並みが改変され、その姿を消滅させてきており、近代建築による地域性の薄い都市景観を呈する状況が生み出されている。

その一方、中国では近年、長い歴史を経る中で異国の文化を吸収同化して形成された開港都市や租界と呼ばれた所では、特有の街並みを残してきていたが、今日、歴史的・文化的な価値を帯びた都市環境として評価認識されることで、都市の個性やアイデンティティ形成の役割を果たすとして、国や地方政府ではそれらを整備し保護保存しながら都市景観形成や都市経営に生かすことが模索されてきている。しかし、こうした整備は、従来までの住民生活を一変させる危惧もあり、大規模な再開発では、面的保護により、歴史的環境を広範囲に復元、保護する手法が導入され、歴史的環境の周辺に大規模な建築が立地することを防ぐための広範囲な面積規制が行われているが、他方で歴史的環境の模倣や混在化も起きている。特に移転や立退きを迫られる住民は、生活再建に関わる経済面の課題や移転先の確保など、整備事業から派生する諸課題への対応策は必ずしも満足していない。このような都市開発と都市環境保護という二律背反な状況の狭間にある住民生活を鑑みることで、本研究を展開してきた。本研究の現地調査は2001年から2018年までの間に概ね3つの拠点を中心に実施した。①歴史的建築物の保護に関する調査分析（国級歴史文化名城 山東省烟台市）。②歴史文化街区の保護に関する調査分析（国級歴史文化名城 山東省青島市）。③地域社会の形成に寄与する水空間の利用に関する調査分析（世界文化遺産 雲南省麗江・大研古城）。を各々3つの視点から現地調査・分析した。各々はデザインサーベイ（関係者へのヒアリング、実測調査、映像媒体による記録、地図への書込み）に基づいた。

論文の内容構成は参考文献を含む全7章からなる。

第1章は「序論」として、研究の背景、中国国内における状況、既往研究の動向、研究の目的、研究対象地、研究対象地に関する研究、研究方法などから構成し、中国の都市環境としての歴史文化保護の過程、中国の歴史的文化的都市環境や保護の取組みを整理している。

第2章は「歴史的文化的都市環境を形成する建築物の保護に関する調査分析-山東省烟台市の烟台山地区と朝陽街地区を対象として-」と題し、開港都市であった烟台市の烟台山地区を中心にした歴史的建築物の保護管理の状況を明らかにした。その結果、烟台市優秀歴史建築物に指定された対象建築物に対する「烟台市優秀歴史建築修繕工程統一要求」に基づく保存・修復は、開港都市の特徴を反映した街づくり推進のため、歴史的・文化的価値を持つ建築物を保護保存が進み、2002年当時は市内5地区が重点保護地区に指定されていたが、2013年に国級歴史文化名城に等級を挙げて指定されることで、街区指定と保護地区が増加し、歴史的建築物指定も107軒から2013年には255軒に増えていた。一方、新たに加えられた朝陽街地区では街区保護事業の推進のため、2017年より住民の立入り規制が行われていたが、一部では住民と行政で転出に対する話し合いによる合意形成がなされた状況を明らかにした。

第3章は「歴史的・文化的都市環境を形成する歴史文化街区の保護に関する調査分析-山東省青島市のビール産業文化街区の現状」と題し、山東省青島市の青島ビール街区に着目して歴史文化街区の保護・保存と利用のあり方について調査した結果、青島市は歴史文化名城に関する実態調査を2009年に

行い保護保存の状況を確認することで、保護対象建築物が居住者により不法な改造や破壊・解体の行われていることを把握した。また、「青島歴史文化名城保護」の対象の内「歴史文化街区」の指定を受けた18街区は見直しにより13街区に減少していた。さらに、歴史文化街区の中に指定された「青島ビール街区」に焦点をあて現況を捉えた結果、ビール街区は商業的色彩が高まり国級歴史文化街区としての指定が解除されていた。ただ、ビール醸造工場は文化財保護建築物としての単体保護と面的な保護がなされ、観光拠点として整備がされていた。一方、各種保護施策は市や区の段階でも補完的な支援を行っており、特色街区としての取組みや市の品質技術監督局による街区の環境維持要求や飲食サービス規範が規定され、各店舗が環境維持やサービス面での環境衛生面への配慮に取り組むことで、街区イメージ向上が図られていることを明らかにした。

第4章は「歴史的・文化的都市環境を形成する水空間(三眼井)の利用に関する調査分析- (雲南省麗江大研古城の三眼井と住民の水利用)」と題し、地区内にある自噴井の「三眼井」に着目し、その空間構成や住民による水利用状況を詳細に調査した。その結果、世界遺産の指定前に社会基盤整備が進められることで、指定後に地区外からの新規住民が増えるなど、住民生活や地域社会に対して内的・外的な環境圧が高まることで、変化を余儀なくされている状況を明らかにした。また、三眼井についてはその規模や平面形態を捉え、水利用の面で継承されている慣習や規約、利用面における意識・行為や管理について明らかにした。大研古城の住民生活を取り巻く状況は、近年の観光客の増加とそれに対応した社会基盤整備及び新規住民の移入などが影響することで、伝統的な風土風習を重んじた住民の生活形態が変化を余儀なくされていること、特に三眼井の利用は住民生活の中で「生きた水」として活用されてきており、800年来の水利用規約が未だに順守されている一方、観光用の三眼井が設置され本来の水利用に対する歴史的・文化的・伝統的な思考に基づき生み出されてきたものとは必然的に異なるため、生活に密着した使われ方がなされずに管理が不十分で休止状態に置かれたものもある。このようなことから大研古城が「水のまち」として持続的に発展するためには、伝統的な習慣や規範意識を保持できる環境づくりが重要となっていることを明らかにした。

第5章は「歴史的・文化的都市環境を形成する水空間(水路)の利用に関する調査分析- (雲南省麗江大研古城の水路網と水路空間)」と題し、地区内の河川や疎水、その先に張り巡らされた小水路網、さらに水路に付随する利水施設に焦点を当て、水路のある街路空間の特徴を詳細に調査した。その結果、大研古城は三眼井のような特異な水利用空間に加えて、多様な水路空間によって街が構成されていることがまちの魅力となっていること、しかしこれらの水路は現在も住民に日常的に利用されているが、訪れる観光客によって水路の水環境(水面や水質)が汚染されている現状を明確に示した。大研古城が「水のまち」として持続的に発展するためには、健全な水利用と水環境の継続的な維持管理が重要であることを明らかにした。

第6章は「結論」と題し、1章から5章までの総括として結果・考察・結論をまとめている。本調査研究を通じて、①文物保護法により、歴史的・文化的な価値を持つ建築物の多くは、保護保存の手立てが進められることで原型保存されてきているものも多いが、不法な改築や破壊・解体されているものも多々あり、街区が大きく改変している状況を明らかにした。このようなことを踏まえれば、実測調査に基づく図面復元を図り、映像記録などを電子情報化しアーカイブ化することで、竣工当初の建築物や街区の構成を復元することの重要性や必要性は高く、歴史的・文化的建築物や街区の保護に対しては、一般市民への理解増進や啓発を図ることが優先事項として高いと考える。②歴史的文化的な価値に基づく建築物の保護保存の場合、内部空間を改装した商業的利用も多く、改装改築が進むことで原型保存を大きく逸脱していた。また、地域性の無い商業主義的利用も増加しており、保護地区周辺部に様式や時代性を模倣した街区を形成している場合も見られた。そのため、記録保存に基づく建築の規制誘導が重要と考える。③保護対象地区の住民生活は、地区内における日常生活の中で築かれてきた習慣や風習、規範意識や相互扶助が、親近性の高い顔見知り社会を構築してきている。そのため、こうした関係性を考慮し、地区に根ざした住民意識を継承できるようにすることが重要である。また、水空間については住民生活の利便性を高めることも重要であるが、生活習慣や伝統として継承されてきたことを理解して空間整備を行うことが重要と考える。

中国では一般市民の社会生活に対する意識改革がオリンピックを契機に推進されてきているが、緒に就いたばかりである。そのため、今後はこのような取組みを一層進めると共に都市環境育成に対する社会的な関心を高めることも重要と考える。

第7章は参考文献一覧で、本調査研究を進める上での参考資料、論文等を収録している。